

## 総合的な学習の時間 学習指導計画案

教科名	総合的な学習の時間	学年	第2学年	時期	11月	
単元・題材名	2年最終探究発表会に向けた壁打ち会 ～生徒同士の対話による新たな問いを発見する～					
<b>目標</b>						
知識及び技能	他教科等及び総合的な学習の時間で習得する知識及び技能が相互に関連付けられ、社会の中で生きて働くものとして形成されるようにすることができる。					
学習指導要領コード						
83M0207610000000						
思考力、判断力、表現力等	課題の設定、情報の収集、整理・分析、まとめ・表現などの探究的な学習の過程において発揮され、未知の状況において活用できるものとして身に付けられるようにすることができる。					
学習指導要領コード						
83M0207620000000						
学びに向かう力、人間性等	自分自身に関すること及び他者や社会との関わりに関することの両方の視点を踏まえることができる。					
学習指導要領コード						
83M0207630000000						
<b>評価</b>						
評価規準				評価材料		
知識・技能	他教科等及び総合的な学習の時間で習得する知識及び技能が相互に関連付けられ、社会の中で生きて働くものとして形成されている。			<b>①</b> 探究活動の取組 <b>②</b> 発表 ① 生徒振り返り		
思考・判断・表現	課題の設定、情報の収集、整理・分析、まとめ・表現などの探究的な学習の過程において発揮され、未知の状況において活用できるものとして身に付いている。			<b>①</b> 探究活動の取組 <b>②</b> 発表 ① 生徒振り返り		
主体的に学習に取り組む態度	自分自身に関すること及び他者や社会との関わりに関することの両方の視点を踏まえている。			<b>①</b> 探究活動の取組 <b>②</b> 発表 ① 生徒振り返り		
<b>指導計画</b>				<b>評価計画</b>		
時	学習活動			知	思	主
前半探究(27)	函館市の地域課題設定・函館市内のFW 【課題設定】1年生の探究活動で発見した地域の課題や、日常生活で感じる地域の課題から、探究課題を設定する。 【情報収集】函館市内で地域課題の現状や課題解決に向けた取組事例について情報収集する。 【整理・分析】函館市内のFWで収集した情報やデータをグラフや表にまとめ、中間発表の資料を作成する。 【まとめ・表現】中間発表会で探究活動内容を1・2年生に発表し、より良い活動になるための助言をもらう。 【振り返り】中間発表会までの活動を振り返り、今後の活動方向性をグループで検討する。			①	①	①
				②	②	②
1	【課題設定】他都市・他地域の先進事例や札幌市内で実施するFW(宿泊研修時に実施)での活動目標や活動計画を立てる。			①	①	① ②
2～10	【情報収集】札幌市内で実施するFWの活動計画に沿って、調査場所や対象の選定やアポイントメントを実施する。また、調査時に必要な資料や質問票を作成する。			①	①	① ②
11～16	【情報収集】札幌市内の企業や行政機関等を訪問し、先進的な取組事例や他地域での課題解決方法についてインタビュー調査で学ぶ。(宿泊研修当日)			①	①	① ②
17～20	【整理・分析】札幌市内で実施したFWで得た調査結果からわかることを整理し、地元函館市の地域課題解決に有効な部分を発見する。他学年生徒からの助言を活かし、再度、アクションプランの内容を練り直す。(本時は20時間目に相当)			①	①	① ②
21～24	【まとめ・表現】他都市・他地域での探究活動も含めた最終成果の報告を、保護者や調査協力関係者に向けて実施する。			①	①	① ②
25	【振り返り】地域課題解決に向けた探究活動について、グループ全体での取組成果や個人の活動内容を基に振り返る。			①	①	①

※○主に評定に用いる評価

●主に学習改善につなげる評価

本校における、問題発見能力の定義		
知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
これまでの学びをもとに問題を発見し、課題を設定するために必要な情報を収集するための知識や技能。	これまでの学びをもとに問題を発見する力や、解決の方向性を明確にした課題を設定する力。	これまでの学びをもとに解決したいと思える問題を見出したり、解決の見通しをもてる課題を設定しようとする態度。
本単元・題材における問題発見能力の位置づけ		
発表生徒は、参観生徒からの多様な意見を共有し合うことで、既存の探究成果や課題設定を多角的な視点から振り返る機会となる。これにより、より深く課題内容について掘り下げるべき新たな「問い」や方向性を見出し、最終成果発表会に向けて論理的かつ効果的なアクションプランの改善を目指す。参観生徒は、発表生徒が取り組む探究活動の成果から、それぞれの学年で進める探究活動内容における「問い」を振り返ることで、それぞれの探究活動における「問い」を発見することができる。		
本校における、問題解決能力の定義		
知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
発見した問題や設定した課題を解決するための計画を立てたり、必要な情報の収集や整理・分析、まとめるための知識や技能。	発見した問題や設定した課題を解決するために、自らの予想や結果を予測を踏まえて、情報を収集、整理、分析し、解決に向けて自らの考えをまとめたり、表現したりする力。	自らの学習の状況を適切に評価し、それをもとに自らの学習を調整しながら、粘り強く問題や課題を解決しようとする態度。
本単元・題材における問題解決能力の位置づけ		
2学年生徒が策定した地域課題の解決策（アクションプラン）を異学年からの意見交流（壁打ち）を通じて検証する場として位置づけられる。得られたフィードバックを整理・分析し、既存の解決計画を多角的に再考・修正・調整することで、最終成果に向けて粘り強く課題解決を継続する態度を養う。		
(1) 本時の目標		
思考力、判断力、表現力等	参観生徒との対話を通じて、発表内容や活動内容を多角的・多面的に再考し、論理的かつ効果的にまとめるための要点を整理することができる。	
学びに向かう力、人間性等	発表生徒の探究活動の事例から学びを得て、自身の探究活動を振り返る場面とし、地域課題解決への意欲や、自ら「問い」を発見しようとするすることができる。	
(2) 学習の展開 20 時間目 / 全 25 時間目		
生徒の学習活動	教師の働きかけ	※留意点 ◇評価方法 ☆問題発見・解決場面 ※生徒の発表準備を支援する。 (発表生徒) ☆他学年生徒からの助言をもらう。  (参観生徒) ☆発表したグループの探究活動やアクションプラン内容について助言をする。 ☆「アドバイスボード」に探究活動内容やアクションプラン内容についての助言をする。  (発表生徒) ◇各活動班での振り返りメモ  (参観生徒) ◇感想アンケート
<p>1. 本時の目標や発表時の注意事項を確認する。</p> <p>2. 【本時の活動】※下記①～③を2セット行う。 (発表生徒)</p> <p>①各会場で探究成果発表をする。(5分)</p> <p>②発表後、3学年の先輩、1学年の後輩生徒からの質疑応答や意見交換（壁打ち）に積極的に対応する。(5分)</p> <p>③受け取った多様な意見を整理し、アクションプランと発表内容の向上点を見つけ出す。(5分)</p> <p>(参観生徒)</p> <p>①2学年生徒の発表終了後、探究活動の内容や提示したアクションプランの内容について、先行して取り組んだ探究活動の成果を踏まえて助言をする。</p> <p>②アクションプランの内容や発表全体に対する助言を「アドバイスボード」に入力し、送信する。</p> <p>3. 【本時の振り返り】 (発表生徒)</p> <p>得られたフィードバックを基に、アクションプランや発表の改善点を振り返りシート等に記述し、今後の活動計画をグループメンバーとともに検討する。</p> <p>(参観生徒)</p> <p>今日参観した発表内容から、地域の魅力発見や課題解決に向けて考えたことについてまとめ、探究活動に向けた「問い」を言語化する。</p>	<p>1. 本時の目標や発表時の注意事項を説明する。</p> <p>2. 【「発表活動」への働きかけ】 (発表生徒への働きかけ)</p> <p>①発表会場を巡回し、進捗状況を確認する。</p> <p>②会場の参観者よりさらなる質疑や助言があれば、発表生徒に应答するように促す。</p> <p>③アクションプランと発表内容の向上点を見つけ出す活動が終わり次第、グループの交代を促し、2セット目の活動を始めるようにする。</p> <p>(参観生徒への働きかけ)</p> <p>①②発表技術（声の大きさ、視線、姿勢など）の観点ではなく、活動内容全体について（地域課題の理解、課題解決のための調査活動、解決方法の提示）への助言や感想をアドバイスボードに入力するように働きかける。</p> <p>3. 【本時の振り返りへの働きかけ】 (発表生徒への働きかけ)</p> <p>参観者によるアドバイスボードを見て、活動内容や発表全体の感想などを確認させる。</p> <p>(参観生徒への働きかけ)</p> <p>言語化に苦しむ生徒がいた場合、参観者同士で気づいたことを共有させても良いと促す。</p>	<p>(参観生徒)</p> <p>◇感想アンケート</p>
(3) 本時の評価 B: おおむね満足できる (○主に評定に用いる評価 ●主に学習改善につなげる評価)		
思考・判断・表現	●	異学年の意見を踏まえ、現在取り組んでいる「問い」の深さや規模を再考し、論理的な裏付けに基づいた発表・活動の調整を図ろうとしている。
主体的に学習に取り組む態度	●	他学年の発表を参観する中で、自身の探究活動を振り返り、新たな「問い」を見つけようとする積極的な関心を態度として示している。